

西宮市シルバー人材センター 経営改善戦略 (概要版)



令和8年3月

公益社団法人西宮市シルバー人材センター

1. 検討の背景と目的

(1) 背景

センターの「存続の危機」を回避し、持続的な経営体制を確立するための戦略を策定します。

(2) 目的

自律した経営を持続するための運営方針と現状の課題に対する取り組み方針を掲げるものです。

(3) 対象期間

本戦略の対象期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。また、投資・財政計画については、令和8年度から令和17年度までの10年間の見通しを記載しています。

2. 当センター運営の現状における課題

- ・会員の高齢化及び会員数
- ・経営状況の変化(インボイス制度の影響等)
- ・組織体制

3. 経営改善コンセプトと方針

(1) 経営改善コンセプト

西宮市の「文教住宅都市」及び「阪神間のベッドタウン」という特性を活かし、多様な専門スキルを持つ会員が集う「文教・生活支援プラットフォーム」となることを目指します。

(2) 経営改善コンセプトに向けた取り組みステップ

- ① 公共・大学等からの受託強化
- ② 民間分野(法人・家庭)における受託強化
- ③ 独自事業・ボランティアによる地域貢献
- ④ 多岐に渉る地域課題の解決

(3) 主な取り組み方針

- ① 正規職員の採用と適正な人員配置による組織体制の強化
- ② デジタルツールのさらなる活用による業務プロセスの効率化
- ③ 決裁基準の緩和や受付体制の見直しによる事務負担の軽減
- ④ 公共事業等の受託拡大や本市の特性を活かした新規事業の開拓
- ⑤ 需要が高い「除草・剪定業務」の新たな体制の構築と受託拡大の実現
- ⑥ 会員のスキルや技能の見える化と対外訴求によるホワイトカラー事業開拓
- ⑦ インボイス制度への「ハイブリッド対応」による強固な財政基盤の構築

4. 経営改善戦略の策定に至る実施プロセスと要約

- ・他センターの事例調査
- ・中核市シルバー人材センターのアンケート調査
- ・西宮市への照会
- ・業務プロセスの分析

5. 経営改善に向けた取り組み

(1)(2)(3) 検討テーマ及びテーマ別課題の要約、施策の全体像

- ① 組織体制と役割の最適化
 - ・正規職員の採用とチーム制の導入、企画業務を担う体制の整備
 - ・適正な人員配置や事業開拓等に従事する人員体制の定着

②業務効率化/デジタル化

- ・各種既存システムの有効活用
- ・決裁事務の負担軽減、ペーパーレス化

③新たな事業分野創出(事業高の向上)

- ・西宮市からの新規事業の受託、大学や民間事業者を対象に新たな収益源の確保
- ・除草・剪定業務の受託拡大

④財政基盤の強化

- ・公共事業及び一般家庭からの受託業務における新契約方式への移行の徹底
- ・事務費率の増加及び民間事業の新契約方式への段階的な移行

6. 投資・財政計画

(1)計画における方針と前提

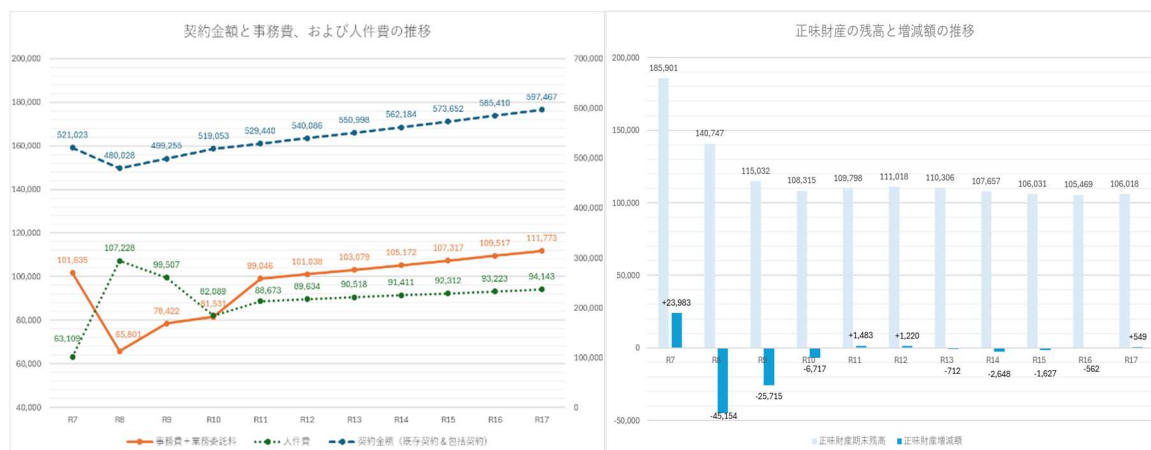
- ・事業高の向上・・・公共・民間分野において受注拡大
- ・インボイス制度への対応・・・新契約移行の推進
- ・事務費の増収・・・事務費率を改定(R9:17%、R11:20%へ)

(2)投資・財政の見通し

- ・各分野における目標事業高及び成長率の達成
- ・デジタル化等の業務改革による経費の削減
- ・インボイス制度への対応
- ・事務費率の改定による財源確保
- ・組織体制と役割の最適化

(3)収支

主要な項目を抜粋した10年間の収支表及びグラフを示します。



7. まとめ

当センターは、西宮市の特性を活かした「文教・生活支援プラットフォーム」の実現を目指し、本戦略に基づいて、「組織体制と役割の最適化」、「業務効率化/デジタル化」、「新たな事業分野の創出」、「財政基盤の強化」の4つの柱で課題解決に向けた改革を推進していきます。また、各施策の進捗状況について、定期的にモニタリングや効果検証を行うとともに、適宜修正や更新を行うことで、本戦略を着実に実行していきます。そして、西宮市が目指す「持続可能な文教住宅都市」の維持・発展の一翼を当センターが担うことで、地域社会にとって真に「不可欠な存在」として末永く信頼される組織となることを目指します。